



健康と温泉フォーラム 第56回月例研究会のご案内

- 主催：NPO法人健康と温泉フォーラム 地域活性学会 NPO法人日本スパ振興協会
- 日時：2015年9月28日(月) 13:30~17:00 (受付13:00から)
- 会場：東京文化会館4階会議室 (JR上野駅公園口前)
- テーマ：シリーズ「温泉地再生の現状を探る」③

一地方から全国へ温泉療養保健制度一大分県竹田市の挑戦

- 講演者：首藤勝次 (大分県竹田市長)

1953年大分県竹田市生まれ。76年大分県直入町役場に就職。主に企画・広報・国際交流の分野を歩み、炭酸泉を縁としたドイツとの国際交流を推進し、姉妹都市締結を実現。大分県議会議員3期を経て、2009年4月より現職。国土交通省の「観光カリスマ」に認定され、全国的に観光振興や地域振興に活躍するリーダー達と幅広い人脈を持つ。健康と温泉フォーラム理事。



■ 講演レズメ

「温泉療養保健制度一大分県竹田市の挑戦」

標高450mの寒村、長湯温泉「大丸旅館」で生を受け、幼少時から旅館・温泉・観光を肌で感じつつ育った。京都の地で大学生活を送った後、父の死により志半ばで帰郷し直入町役場に就職。広報マンとして地域や他自治体の取組みに触れながら、地域の活性化の必要性和使命を胸に強く抱くようになる。21世紀の幕開けとともに25年間勤めた直入町役場を退職。(株)大丸旅館の社長就任、大分県議会議員当選を経て、平成16年には国土交通省から「観光カリスマ」に選定される。平成17年、市町合併により「竹田市」として新たなスタートをきることとなった長湯温泉。しかし国民宿舎の民間売却方針に不信感を抱く中、平成21年には県議を辞し市長選に出馬・当選を果たす。

市長就任後、竹田市ならではの地域力、人間力、行政力をフルに発揮していくために「TOP運動」を推進しているが、これによって多くの成果が生み出されている。例えば「農村回帰」。「住みたい田舎ランキング全国3位」や「チャレンジしたい若者におすすめ部門全国第1位」など移住者数の実績やマスコミへの露出を背景に全国有数の移住希望地に育ってきた。また、「城下町再生」や「竹田総合学院(TSG)の実践」も全国からの視察が絶えることはない。さらに、ロシアやドイツの都市とのローカル外交、竹田ブランドの構築と「知産地消」の展開等、政策の翼は拡がる一方である。

特に、政策の大きな柱となっている温泉療養保健制度は、健康増進、観光振興、スポーツリハビリ、雇用創出等、温泉の活用を基盤にした横断的かつ複層的な政策展開であり、私の30年に亘る構想の着地点となるものである。昨年秋、日本の名湯百選®に認定された長湯温泉に続き、本年春には市内全地域が環境省国民保養温泉地として指定を受けた。「地方創生」を掲げたこの夏、産学官連携による飲泉エビデンス調査、炭酸泉タブレットの研究開発支援、温泉利用型健康増進施設の整備、人材養成学院の設立等、本市の温泉療養保健制度に臨界期が訪れた。今、「温泉力地域協力協定」による広域連携を足掛かりとして、地方から全国ブランドに進化する新たなステージを迎えようとしている。



写真：「温泉力地域協力協定」
左から工藤北海道豊富町長、
門脇秋田県仙北市長、首藤大分県竹田市長、
三友健康と温泉フォーラム会長」

■プログラム（予定）

1300	受付
1330～1340	背景説明
1340～1440	講演
1440～1500	休憩
1500～1645	ディスカッション 質疑
1645～1700	まとめ閉会



■定員 60名

- 参加費 2,000円（健康と温泉フォーラム、地域活性学会、日本スパ振興協会各会員）
3,000円（一般） 当日受付でお支払いください。
無料（学生・報道）

■お申込み・お問い合わせ

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局までE-mailまたはFAXにてお申込みください。定員先着60名とさせていただきます。

E-mail info@onsen-forum.jp TEL&FAX 03-6804-8575

E-mail info@onsen-forum.jp Fax 03-6804-8575

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書（各□に✓をお願いします）

- 第56回月例研究会（2015年9月28日（月））に出席します。

●お名前（複数可）

●団体名

●住所 〒

●連絡先 TEL
E-mail

FAX
携帯☎